

教員養成大学学生の「表現運動の授業」に関する意識調査

大 城 順 子

A Survey of Students' Attitudes toward Expressive Exercise in University Courses for Teacher Training

Junko OHKI

SUMMARY

The aim of this paper is to investigate into the changes in students' attitudes toward Expressive Exercise, which is one of the content activities listed in the Curriculum Guideline for Elementary Schools, through the class, *Teaching Method for Elementary School (P.E. I) : Expressive Exercise*, provided in our curriculum.

Before and after taking the class, *Teaching Method for Elementary School (P.E. I) : Expressive Exercise*, we had students answer questions concerning their frame of mind toward Expressive Exercise. There were few students who had taken a class to learn Expressive Exercise before, and about 90% of the students expressed their anxiety or felt ashamed of dancing in public. After the semester, students' response drastically changed; more than 85% of the students felt confident in dancing in public and showed interest in taking the similar classes again. I would like to continue this survey in order to improve our curriculum and the content of *Teaching Method for Elementary School* for the future teachers from our school to be able to show how wonderful Expressive Exercise is to their pupils.

Key words

Expressive exercise, Teacher training course, survey of student's attitudes

I. はじめに

かつて、筆者らは、本学体育研究室において、初等教員養成課程における体育科カリキュラムや授業内容（講義・実技）のあり方について検討するため、1984年10月から同年11月にかけて、1980年3月以降の5年間に本学（女子学生のための教育大学の時代）を卒業した岐阜県内（岐阜地区・西濃地区・美濃地区・可茂地区・東濃地区・飛騨地区）の小学校教員（非常勤講師を含む）200名を対象に、卒業生自身の勤務先の小学校での「体育の授業」の実践の様子や、現場でかかえている問題点、および大学時代の授業内容がどの程度役立っているかなどについて調査した結果を「岐阜教育大学紀要 第12集 1985年」に報告した。

当時、文部省（現在の文部科学省）では、昭和48年11月に教育課程審議会に対し、「小学校、中学校及び高等学校の教育課程の改善について」の諮問を行い、その後、3年余にわたる慎重な審議を経て昭和51年12月に答申を得た。そして、この教育課程審議会の答申の趣旨を十分尊重し

た上で、昭和52年7月23日に小学校学習指導要領の改訂と学校教育法施行規則の一部改正を行ったが、新小学校学習指導要領等の新しい教育課程の基準は昭和55年度から実施されることになった。

その教育課程の基準の改定に当たっては、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指して、それまでの体育の基本的な考えを受け継ぎながら内容の再構成を行い、体育の一層の充実がはかられていたところであった。

「小学校学習指導要領第2章各教科第8節体育」に示されている内容は、小学校高学年では、「体操」・「器械運動」・「陸上運動」・「水泳」・「ボール運動」・「表現運動」の6領域であるが、これらは、特に示す場合を除き、必ず取り扱う内容である。

ところが、前述の研究では、卒業生を対象にアンケート調査を行った結果、6領域の内容の指導状況について、以下のような実態を知ることができた。

まず、「基本の運動」については、力試しの運動と、模倣の運動で約7割、それ以外の内容では、8割から9割の指導率であった。「ゲーム」については、第3学年、4学年で取り扱うラインサッカーで7割、他は全て8割から9割の指導率であった。そして、「器械運動」については、どの内容についても、9割から10割に近い実施状況であった。また、「体操」については、「素早い動きを高める運動」においては、5学年、6学年ともに5割前後、無理のない速さでの5～7分間の持久走といったような「動きを持続する能力を高める運動」では、第6学年で5割程度、それ以外は全て、3割から4割の指導率であった。そして、各運動領域の態度に関する内容で取り扱うように改められた集団行動は、昭和43年の学習指導要領で、「体操」の技能的な内容に位置付けられたことも影響してか、8割から9割を占めていた。そして、「陸上運動」については、全ての内容において、7割から9割、「ボール運動」についても、約8割前後の指導率であり、「水泳」についても同様に、全ての内容について7割から8割の指導率であった。

しかし、これらに対し、「表現運動」では、各学年ごとに内容を検討してみると、第3学年で取り扱う、「軽くて柔らかい感じ」が一番多いにもかかわらず、わずか4割、第4学年であげられる「力が急に爆発する感じ」で3割、それ以外は全て全学年にわたって1割、または1割にも満たない指導率であった。

「表現運動」は、教師にとってその指導が大変難しい教材である。そこで子どもたちが楽しく運動でき、教師も容易に指導できるようにするための実践的研究が必要であろう。

三浦も、昭和51年当時の東京都における小学校教育内容現代化指導資料集の中で、ダンス指導の状況は一部に質の高い研究が行われているものの、一般的な傾向として指導があまり行われていないのが現状であると分析されていることを報告している。

そのような背景の中で、本学でも、その報告以降継続的に初等教科教育法の授業の中で、「表現運動」を取り扱ってきた。

その後、約30年経った今、小学校において「表現運動の授業」は、実際どのように行われているのだろうか。

そこで、今回、その頃から約30年間継続的に実施してきた本学での「表現運動の授業」の実態を把握し、実際、授業前と授業後では学生がどのような意識の変化をもたらしているのかを検討し、今後の初等教員養成課程の大学としてのカリキュラムや学習内容のありかたについて再検討する。その結果、今年度、「初等教科教育法（体育Ⅱ）」の「表現運動」の授業を受講した学生を対象に、授業前と授業後のアンケート法による比較から、意識の変化が伺えたため、ここに報告する。

II. 方 法

1. 調査の期間と対象

本研究は、2009年4月から7月にかけて、本学の初等教科教育法（体育Ⅱ）で「表現運動」の授業を受講した本学3年生の学生311名を対象に、授業前および授業終了後の2回にわたり、その授業に対する意識調査を実施した。

2. 調査方法と内容

調査は質問紙法により、本学の初等教科教育法（体育Ⅱ）の「表現運動」の授業開始前および最後の授業終了後の2回実施した。

調査の概要は、①小学校・中学校・高校の体育の授業で「表現運動」の授業を受けた経験があるか否か。②また、その「表現運動」の内容はどのようなものであったか。③過去に受講した「表現運動」の授業は楽しかったかどうか。④今回、大学で「表現運動」の授業として「作品づくり」をして、どのように感じたか。⑤本学のような初等教育過程の教員養成大学での表現運動の授業の有用性についてなどである。

なお、回答方法は、②④のみ記述式で、その他については4段階評価方式とした。（調査票は、別に添付。）

3. 表現運動の授業は、1時間（90分）を全7回実施し、それぞれ6～8名のグループで、「激しい感じ」から受けるイメージを話し合い、テーマを決め、作品づくりを行った。最後に発表会をおこなった。

III. 結果および考察

本学の初等教科教育の授業で表現運動を受講した3年生の学生の中で、小学校から高校までの体育の授業で、「表現運動を行ったことがある」と答えた学生は、311名中266名（86%）であった。しかし、小学校での表現運動の経験者は、約半数の181名で、特に、そのほとんどが運動会でのフォークダンスのみで、「イメージに合わせた作品づくりをする」などの経験がある者は、非常に少なく、34名と全体の約10%しかいない状況であった。

ところで、文部科学省では、昨年（平成20年）3月28日に学校教育法施行規則の一部改正と小学校学習指導要領の改訂を行い、新小学校学習指導要領は平成23年から全面的に実施することとしており、今年度から移行措置として一部を先行して実施することとしている。

小学校学習指導要領解説体育編によると、今回の改訂は、改正された教育基本法や学校教育法等の規定にのっとり、平成20年1月の中央教育審議会答申を踏まえ、

- ① 教育基本法改正等で明確となった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成すること、
- ② 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること、
- ③ 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心と健やかな体を育成すること、を基本的なねらいとして行ったものである。

現行の小学校学習指導要領第2章第9節「体育」の内容については、図1に示したとおりであ

るが、この中でも、もちろん「表現運動」も、「体育」の内容としての重要な位置を占めており、「表現運動」の技能については、

- ① 次の運動の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。
- ア 表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。
- イ フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。
- としている。

1年	2年	3年	4年	5年	6年
【体づくり運動】					
体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動遊び	体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動遊び	体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動	体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動
【器械・器具を使つての運動遊び】		【器械運動】			
固定施設を使つた運動遊び					
マットを使つた運動遊び		マット運動		マット運動	
鉄棒を使つた運動遊び		鉄棒運動		鉄棒運動	
跳び箱を使つた運動遊び		跳び箱運動		跳び箱運動	
【走・跳の運動遊び】		【走・跳の運動】		【陸上運動】	
走の運動遊び		かけっこ・リレー 小型ハードル走		短距離走・リレー ハードル走	
跳の運動遊び		幅跳び 高跳び		走り幅跳び 走り高跳び	
【水遊び】		【浮く・泳ぐ運動】		【水泳】	
水に慣れる遊び 浮く・もぐる遊び		浮く運動 泳ぐ運動		クロール 平泳ぎ	
【ゲーム】			【ボール運動】		
ボールゲーム 鬼遊び		ゴール型ゲーム ネット型ゲーム ベースボール型ゲーム		ゴール型 ネット型 ベースボール型	
【表現リズム遊び】		【表現運動】			
表現遊び		表現		表現	
リズム遊び		リズムダンス		フォークダンス	
【保健】					
		毎日の生活と健康	育ちゆく体とわたし	心の健康 けがの防止	病気の予防

図1. 領域構成と内容

しかし、実際には、前述のように、現在でもほとんどの学生が、小学校時代に運動会でのフォークダンス以外、イメージに合わせて踊ったり、作品づくりをして皆で発表会をしたなどの記憶はないようである。

三浦は、「小学校学習指導要領に示される運動領域は、その改訂の都度多少の変更はあるが、ダンス（現行では表現運動）ほど、名称の変化の激しい運動領域は他にはない。改訂の度に領域名称が変わるといふ領域は、他にはあまり見当たらない。勿論領域の名称が変わるといふことは、

目標や内容にも改善の必要があつてのことだと思つたが、その結果が教師や児童に親しまれる方向に改善されないと全く意味がないことになるだろうが、定着しにくい原因もそのへんにあるかもしれない。」と述べている。

そのような中で、学生は、どのような気持ちで「表現運動」の授業に臨んだのであろうか。

以下に、今回「表現運動」の授業の前後に実施した学生へのアンケート結果をもう少し深く分析したものを示す。

まず、小学校・中学校・高校での表現運動経験者に対して表現運動は「楽しかったですか?」という質問については、以下に示したとおりである。

過去（小学校・中学校・高校）に表現運動の授業を受けたことがあると答えた学生266名のうち、その時「とても楽しかった」「楽しかった」と答えた学生は187名で、全体の70%と思つたよりたくさんの方が楽しかったと答えていた。

しかし、「またやりたいかどうか?」については、「必ずやりたい」（15名）、「機会があればやりたい」（131名）と答えた者は、266名中146名と全体の約半分（55%）で、残り半分の学生は、「二度とやりたくない」と答えた14名の学生を含め、「あまりやりたいとは思わない」と答えた。

そして、その原因のひとつではないかと思われるが、表現運動を行つてみて「恥ずかしかった」と答えた者が、266名中224名と、全体の84%もいた。

次に、今回、大学での初等教科教育法（体育Ⅱ）の授業で、表現運動の「作品づくり」をすることについて、「今どんな気持ちですか?」と尋ねたところ、図2のように、「少し憂鬱」「非常に憂鬱」と答えた学生が、全体の57%をしめ、さらに、図3のように、311名（未回答3名）中、276名と約90%の学生が「不安だ」と答えた。

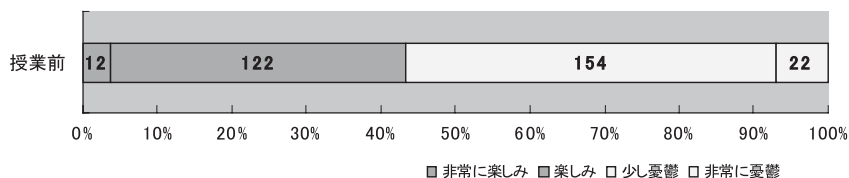


図2. 今から行う表現運動の授業は楽しみですか?

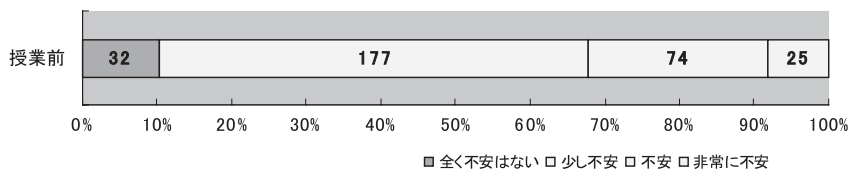


図3. 今から行う表現運動の授業は不安ですか?

しかし、図4の「この授業で、表現運動の作品づくりをやったほうが良いと思うかどうか?」の問いについては、やはり教員養成大学ということ意識してか、「勉強になるのでやったほうが良い」「どちらかといえばやったほうが良い」など、311名中283名と全体の91%の学生が「大学の授業での表現運動の作品づくりを経験することの必要性」を感じているようである。

ただ、ここで わずかではあるが注目しなければならないのは、授業開始前では、「やらなくてもよい」と答えた学生が25名もあり、「全くやる必要はない」と答えた者が、ごくわずかではあるが 3名いたということである。さらに、その理由を確認してみると、3人とも「今までも

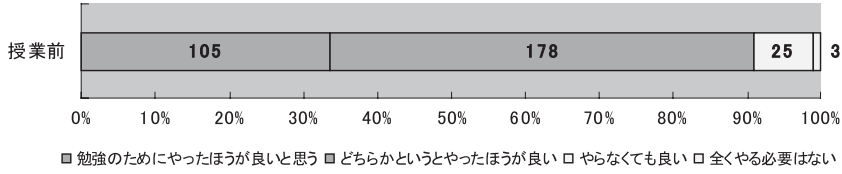
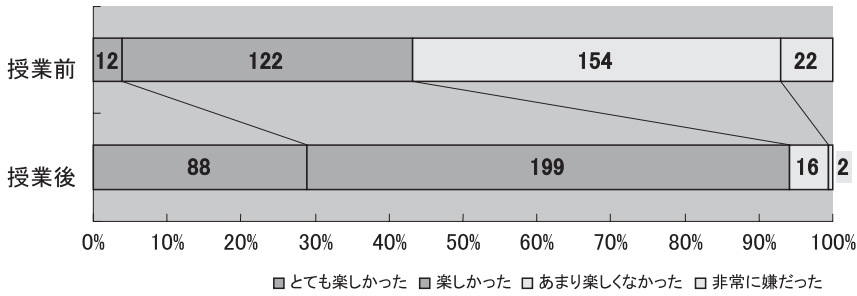
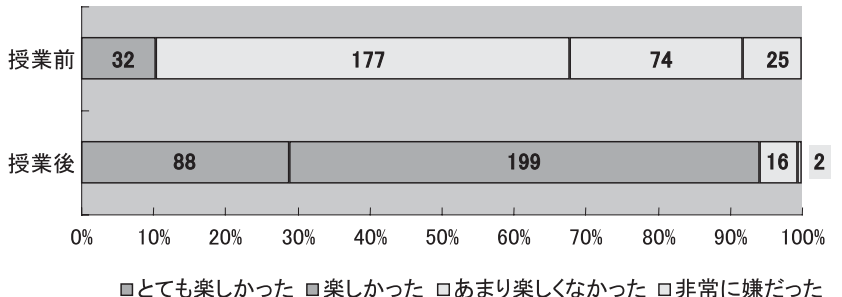


図 4. 表現運動の授業は必要だと思いますか？



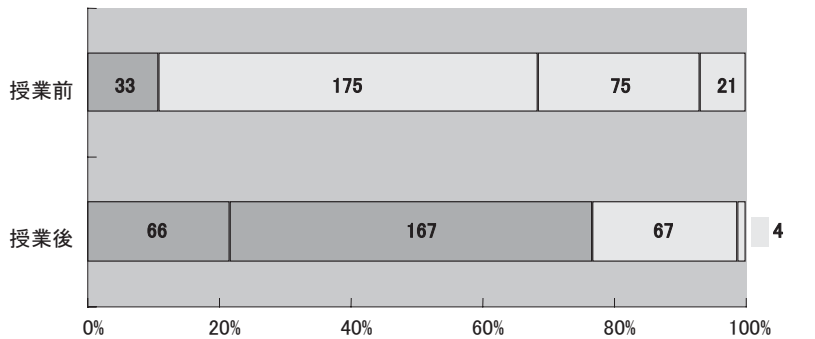
$\chi^2 (df) = 204.893 (3), p < 0.001$, Cramer の関連係数 = 0.57720

図 5. 表現運動の授業前と授業後の気持ちの変化（楽しさ）について



$\chi^2 (df) = 84.378 (3), p < 0.001$, Cramer の関連係数 = 0.37101

図 6. 表現運動の授業前と授業後の気持ちの変化（不安感について）



$\chi^2 (df) = 23.198 (3), p < 0.001$, Cramer の関連係数 = 0.19533

図 7. 表現運動の授業前後の気持ちの変化（恥ずかしさ）について

小学校でやったことはなかったし、別にやる必要はないと思う。」というような内容であった。

そこで、このような感想をもった学生が 今回のこの表現運動の授業を受けた結果、授業前と授業終了後では、どのように気持ちの変化があるのかを明確にするために、2回のアンケート調査を比較した結果を、図5、6、7に示す。

前述のように、図2、3に示したとおり、大学の表現運動の授業前では、「不安」と答えた者が、全体の90%を占め、「憂鬱」と答えた者が約60%いたにもかかわらず、授業後の意識調査では、306名（未回答1名）中287名と 94%の学生が「とても楽しかった（88名）」、「楽しかった（199名）」と答えた（図5、図6.）。

さらに、図7より、授業前は、「今から大学で表現運動の作品づくりを行うのは、恥ずかしい」と答えた学生が約90%いたにもかかわらず、授業後には約80%近い学生が、「全く恥ずかしくなかった」「実際にやってみると恥ずかしくなかった」と答えた。

さらに、それに加えて、全体の84%の学生が、「是非またやりたい」「機会があればまたやりたい」と思っていることがわかった。

IV. ま と め

今回、教員養成大学の学生の「表現運動」の授業前後の意識調査を行い、授業の前と後では、どのような気持ちの変化があるのかを検討した。今後の初等教員養成課程の大学としてのカリキュラムや学習内容のあり方について再検討する為、今年度、「初等教科教育法（体育Ⅱ）の授業を受講した学生を対象に、授業前と授業後の2回にわたり、アンケート法による意識調査を行った。

その結果、「表現運動」、特に、イメージにあわせた作品づくりなどをする場合、授業スタート時には、今まで小学校の頃から体育の授業の中でほとんど経験したことのない「表現運動」について、人前で身体表現をするということがあまり慣れてない学生が多く、学生自身が、実際にあまり行った経験がないことが明らかとなった。今後、小学校の体育の授業で、「表現運動」を指導しなければならない立場になった時、どのように内容を考えて進めていけばよいのか、創造さえつかない学生も多く見られた。

しかし、ほとんどの者が、授業終了時には、「実際にやってみると、とても楽しかった。」「機会があれば、また やってみたい。」「やってみると、恥ずかしくなかった。」などと、受講前と後では、大きく「表現運動」に対する意識が変わっていたことは確かである。これは、卒業後ほとんどの学生が、小学校の教員を目指している教員養成大学の授業を実施するに当たり、大きな成果であると感じた。

今回は、「表現運動」を受講した学生が、「表現運動」に対して、今までの教育の中でどのような体験をし、また小学校の頃からイメージにあわせて作品づくりをした経験のない学生たちが、大学での授業前と授業後では、どのような気持ちの変化があるのかを中心に見てきた。今後、「表現運動」は あまり得意でないという学生や、あまりやりたくないと思ったという学生について、さらに深く原因を追求し、教員養成大学の学生たちに、どのような授業を行っていくことが望ましいのかを継続的に研究していきたい。

引 用 文 献

- (1) 文部省「小学校学習指導書体育編」東山書房 1980
- (2) 大城順子, 柴田純子, 花井忠征「本学卒業生の体育授業に関する研究(その1)」聖徳学園 岐阜教育大学紀要 第12集 1985
- (3) 三浦 勇「小学校体育指導の改善・開発 誰にでもできる模倣・表現運動の指導」東洋館出版社
- (4) 西谷怜子他「表現・ダンス 学習指導の体系化を目指して」遊戯社 1986
- (5) 鷺尾滯子・大浦美代「舞踊表現における音と動きに関する研究(Ⅱ) 上智大学体育 上智大学 体育学会 No.14 1980
- (6) 文部科学省「小学校学習指導要領解説 体育編」 東洋館出版社 2008

体育科教育 I-2 (表現運動)

学生番号 _____
 氏名 _____
 性別・・・・○で囲む (男性・女性)

表現運動について答えてください。

1. 学校体育で、表現運動の授業を受けた記憶はありますか？
 (* 以下 当てはまるものを○で囲む・・・各項目3段階)

- ① 小学校のとき はい・いいえ・覚えていない
 - ② 中学校のとき はい・いいえ・覚えていない
 - ③ 高校のとき はい・いいえ・覚えていない
2. その内容は、どのようなものでしたか？

- ① 小学校のとき・・・運動会でのフォークダンス、民謡、創作ダンスetc.
- ② 中学校のとき・・・
- ③ 高校のとき・・・

3. そのときの表現運動を行って、どんな気持ちでしたか？
 (* 以下 当てはまるものを○で囲む・・・各項目4段階)

- ① 楽しかったですか？
 とても楽しかった・楽しかった・あまり楽しくなかった・すごくいやだった
- ② 恥ずかしかったですか？
 全く恥ずかしくなかった・ちょっと恥ずかしかった・恥ずかしかった・とても恥ずかしかった
- ③ またやりたいと思いましたが？
 必ずまたやってみようと思った・機会があればまたやってみてもいいかなと思った・あまりやりたいとは思わなかった・二度とやりたくないと思った
- ④ その理由：
 その他感じたこと

4. 表現運動を行って、良かった事があれば、記入してください。
 特にない場合は、特になしと記入してください。

その理由：

5. 表現運動がマイナスだと思うことがあれば、記入して下さい。
 特にない場合は、特になしと記入してください。

その理由：

6. この体育科教育 I-2 で、今日から表現運動を行います。今、どんな気持ちですか？

(* 以下 当てはまるものを○で囲む・・・各項目4段階)

- ① 大変楽しみにしている・楽しみにしている・少し憂鬱・非常に憂鬱
- ② 全く不安はない・少し不安・不安・非常に不安
- ③ 大好きな内容である・まあまあ好きな内容である・あまり好きな内容ではない・大嫌いな内容
- ④ 勉強になると思うのでは非やっておいた方が良いと思う・どちらかと言えはやった方が良いと思う・やらなくても良いと思う・全くやる必要はないと思う
- ⑤ その理由：
 全く恥ずかしくない・少し恥ずかしい・恥ずかしい・大変恥ずかしい
- ⑥ その他 (何かあれば、記入してください。)

初等教科教育法（体育Ⅱ） 表現運動

学生番号 _____ 氏 名 _____

今回 この授業で、表現運動を実際に行ってみてどうでしたか？

I. 今、開始前と比べて どんな気持ちですか？

- ① とても楽しかった
 - ② 実際にやってみると、楽しかった
 - ③ あまり楽しくなかった
 - ④ 最後まですごくいやだった
- II. 恥ずかしかったですか？
- ① 全く恥ずかしくなかった
 - ② 実際にやってみると、恥ずかしくなかった
 - ③ 恥ずかしかった
 - ④ すごく恥ずかしかった

III. またやってみたいと思いますか？

- ① 是非やってみたいと思う
- ② 機会があればやってみてもいいかなと思う
- ③ あまりやりたいとは思わない
- ④ 二度とやりたくないと考えた

その理由： _____

IV. 何か他に感じたことがあれば、記入してください。

V. 今回、表現の運動を行ってみて 良かったと思うことはありますか？
また、その理由も記入して下さい。

VI. 表現運動を行って マイナスだと思うことがあれば、記入してください。
また、その理由も記入して下さい。

VII. 今回、この初等教科教育法（体育Ⅱ）の授業で 表現運動を行ってみてどうでしたか？
感想を 自由に記入して下さい。
